

復興の進捗状況

【気仙沼・本吉地域版】

平成29年10月1日

宮城県

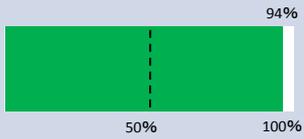
この『復興の進捗状況』は、宮城県が取り組む気仙沼・本吉地域の復旧・復興事業について、その進捗状況等を表したものです。

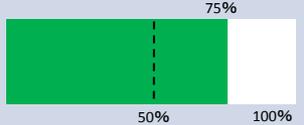
インフラ施設などの項目については、事業の進捗に応じて、事業の着手段階における進捗と事業完了段階における進捗の両方を記載しています。「着手」は、工事請負契約を締結したものを示し、「完成」は工事が完了したものを示しています。

公共土木施設災害復旧事業・インフラ関連

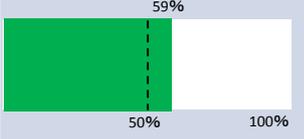
項目	(着手・完成箇所数) ／(被災箇所数)	進捗率
河川施設 (復旧工事) 被災箇所数: 21か所		着手 100% 着手箇所数: 21か所 (H29/9末現在) 完成 約19% 完成箇所数: 4か所 (H29/9末現在)
海岸保全施設 (復旧工事) 被災箇所数: 32か所		着手 約97% 着手箇所数: 31か所 (H29/9末現在) 完成 約25% 完成箇所数: 8か所 (H29/9末現在)
港湾施設 (復旧工事) 被災箇所数: 11か所		着手 100% 着手箇所数: 11か所 (H29/9末現在) 完成 約36% 完成箇所数: 4か所 (H29/9末現在)
道路・橋梁施設 (復旧工事) 被災箇所数: 道路 111か所 橋梁 12か所		着手 約98% 着手箇所数: 121か所 (H29/9末現在) 完成 約81% 完成箇所数: 100か所 (H29/9末現在)

経済・商工関連

項目	(営業・稼働事業者数) ／(被災事業者数等)	復旧状況
被災商工業者の 営業状況		約94%
商工会議所・商工 会の被災会員数: 1,331会員(H23/3) うち廃業除く:935会員		営業継続会員数: 879会員 うち仮復旧中:199会員 (約21%) (H29/3現在)

項目	進捗率 (完了事業者数) ／(交付決定事業者数)	復旧状況
中小企業等 グループ補助金に よる支援状況		約75%
交付決定1,014事業者 (H29/3/31) ※当初交付決定-廃止		完了 756事業者 (H29/3/31)

観光関連

項目	(現在値) ／(震災前値)	回復状況
観光客入込数		約59%
H22年 362万人		H27年 215万人 (H27年観光統計概要)

雇用関連

公共職業安定所の有効求人倍率(原数値)

	県全体	気仙沼
H23年4月	0.39	0.19
H29年8月	1.60	1.77

雇用情勢(H29年8月)【資料出典:ハローワーク気仙沼】

有効求職者数※ 1, 202人
 【震災直前(H23.2): 1, 778人】
 【ピーク時(H23.6): 6, 325人】
 ※有効求職者:震災による失業者、震災以外の理由による失業者、震災前からの失業者等

宮城県事業復興型雇用創出助成金による雇用創出の取組

期間の定めのない雇用等を行った民間事業主等への支援
 実績:804社, 2,767人(延べ数・申請ベース)(H29年2月末)

農業関連

項目	(着手・完成面積等) ／(復旧対象面積等)	進捗率
農地 (除塩含む) 復旧対象面積: 約 1,130ha ※年度別復旧計画 H23 120ha H26 115ha H24 555ha H27 10ha H25 310ha H28～ 20ha		着手 約99% 着手面積: 約1,122ha(H29/8末) 完成 約97% 完成面積: 約1,101ha(H29/8末)
農地海岸 対象箇所数: 19箇所		着手 100% 着手箇所数: 19か所 (H29/8末) 完成 約79% 完成箇所数: 15か所(H29/8末)
項目	(復旧面積) ／(復旧対象面積)	復旧率
園芸 (園芸用ガラス室・ ハウス復旧面積) 被害面積11.3haのうち 復旧対象面積:約7.4ha (H23/3/11)		100% 復旧面積: 7.4ha (H29/9末現在)

林業関連

項目	(着手・完成箇所数) ／(被災箇所数)	進捗率
治山施設 (山地・海岸) 被災箇所数: 8か所		着手 100% 着手箇所数: 8か所 (H29/9末現在) 完成 約63% 完成箇所数: 5か所(H29/9末現在)
林道施設 被災箇所数: 9か所		着手 100% 着手箇所数: 9か所 (H29/9末現在) 完成 100% 完成箇所数: 9か所(H29/9末現在)
項目	(被災後製品出荷額) ／(被災前製品出荷額)	復旧状況
木材加工工場 の製品出荷額 H22製品出荷額: 約3億円 (主要工場3社) ※震災で生産停止		約243% H28製品出荷額: 約7.3億円 地域内主要工場 製材工場 : 3社 主要工場3社について、 全て復旧が完了し、操 業中

水産業関連

項目	(着手・完成箇所数) ／(被災箇所数)	進捗率
漁港 (復旧工事) 被災箇所数: 558か所 ※被災漁港数60港の内、 60漁港に着手。 ※ 箇所数は県管理漁港と市町管理漁港の合計値		着手 約89% 着手箇所数: 495か所 (H29/9末現在) 完成 約75% 完成箇所数: 417か所 (H29/9末現在)
項目	(被災後数値) ／(被災前数値)	復旧状況
漁船 震災前の稼働漁船 隻数: 約3,600隻 (H23/3/11)		約100% 稼働隻数: 3,655隻 (H29/9末現在)
主要魚市場の 水揚状況 H22の水揚金額: 約240億円 (約11万ト) (H22/1～H22/12)	 主要魚市場 気仙沼, 南三陸	約90% H28の水揚金額: 約217億円 (約8.1万ト) (H28/1～H28/12)

復興に向けた管内の動き

清水（しず）地区農地海岸復旧工事「L1堤防」の完成！！

南三陸支所が本吉郡南三陸町志津川権現地内で進めている清水（しず）地区農地海岸復旧工事で「L1堤防」（海岸堤防）が完成しました。清水（しず）地区では、平成23年東北地方太平洋沖地震災害により住家流失を含む被害が著しく、さらに地盤沈下が生じるなど海岸堤防の機能が損なわれており、早急に復旧工事を行う必要がありました。

宮城県は、発生頻度の高い津波（数十年から百数十年に一度程度）への防災対策として主に海岸堤防等の整備を進めています。この目的は、最大限に人命・財産等の防護であり、仮に施設最頂部を超える高い津波が襲来しても、全壊する恐れが低く避難時間の確保が可能な、粘り強い構造の海岸堤防等を設計・採用しています。

（気仙沼地方振興事務所農業農村整備部（旧・南三陸支所））



【完成したL1堤防】

気仙沼市最知地区及び小泉地区の水稲乾燥調製施設が今年から稼働！

気仙沼市最知地区と小泉地区では、東日本大震災で被災した農地の復旧が進み、地域の営農組合が水稲の作付を再開しています。今年度の水稲の作付面積は最知地区が約10ha、小泉地区が約20haであり、9月下旬から黄金色に輝く水田の中にコンバインが入り、収穫作業が急ピッチで行われています。

昨年は、近隣の施設に乾燥調製を委託しておりましたが、今年、東日本大震災復興交付金（被災地域農業復興総合支援事業）を活用した念願の水稲乾燥調製施設が完成し、稼働の日を待つばかりとなっていました。当施設は地域農業を支える重要な施設であり、ようやく先進的で効率的な農業の実現となりました。

晴天の下、当施設には収穫された米が軽トラックで次々と運ばれ、作業員は皆笑顔で荷受け作業に当たっていました。

（気仙沼地方振興事務所農業振興部）



【最知地区の水稲乾燥調製施設】



【荷受け作業（小泉地区）】



【小泉地区の水稲乾燥調製施設（内部）】

新気仙沼合同庁舎が開庁しました

東日本大震災で被災し、移転建替を進めてきました新気仙沼合同庁舎が完成し、平成29年10月10日（火）に開庁しました。

新庁舎は、最新の耐震基準を満たした鉄骨造り5階建てで、非常用発電設備や40kWの太陽光発電設備、食糧備蓄倉庫など、地域の防災活動拠点としての機能を備えています。

また、誰でも使いやすい多目的トイレを各階に設置したほか、全館LED照明を採用し、省エネルギーに配慮した建物となっています。

新庁舎の完成に伴い、本吉分庁舎（南三陸支所及び本吉農業普及改良センター）は10月6日（金）をもって閉庁しました。南三陸町役場のパスポート及び県税窓口は、引き続き毎週木曜日に開設します。

なお、平成30年8月まで引き続き付属棟工事が施工されます。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

（気仙沼地方振興事務所総務部）



【外観イメージ(全体完成時)】



【開庁式(10/17)の様子】

発行：宮城県気仙沼地方振興事務所地方振興部

電話：0226-24-2593 E-mail:kstssss@pref.miyagi.lg.jp

ホームページ：http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-tihouken-e/

